

問1 奈良時代に、中国の制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？

1. 遣新羅使 2. 遣隋使 3. 遣明使 4. 遣唐使

問2 聖武天皇の時代に奈良を中心に栄えた、唐や西アジアの文化の影響を受けた国際色豊かな文化を何という？

1. 国風文化 2. 白鳳文化 3. 天平文化 4. 飛鳥文化

問3 防人として徴兵された農民たちは、主に日本のどの地方から選ばれていましたか？

1. 東国 2. 畿内 3. 西国 4. 東北

問4 朝廷が令制国ごとの土地の由来や産物などを記録させた地理書を何という？

1. 風土記 2. 日本書紀 3. 古事記 4. 万葉集

問5 713年、国ごとに地理や産物などをまとめるように命じた天皇は誰？

1. 孝徳天皇 2. 推古天皇 3. 聖武天皇 4. 元明天皇

問6 律令制度において、神祇官と共に二官の一つとして行政の統括を担った機関を何という？

1. 神祇官 2. 検非違使 3. 弾正台 4. 太政官

問7 郡司が行政に携わった、大宝律令などに基づく国家体制を何という？

1. 古代国家 2. 中央集権国家 3. 律令国家 4. 封建国家

問8 大伴家持らが編纂に関わったとされる、現存する日本最古の和歌集を何という？

1. 新古今和歌集 2. 万葉集 3. 古今和歌集 4. 懐風藻

問9 万葉集にある歌の序文から引用された、現在の日本の元号を何という？

1. 平成 2. 令和 3. 大正 4. 昭和

問10 正倉院にゆかりの品々がおさめられている、奈良時代の天皇は誰？

1. 天武天皇 2. 桓武天皇 3. 孝徳天皇 4. 聖武天皇

問11 唐の長安を模して造られ、奈良時代に都が置かれた場所を何という？

1. 平城京 2. 藤原京 3. 長岡京 4. 平安京

問12 奈良時代の九州地方に派遣され、防衛の任務についた兵士を何という？

1. 兵士 2. 衛士 3. 健児 4. 防人

問13 郡司が指揮下に入っていた、中央から派遣された地方長官のことを何という？

1. 国司 2. 防人 3. 郡司 4. 里長

問14 平城京の設計のモデルとなった、唐の都の名前を何という？

1. 平安京 2. 長安 3. 洛陽 4. 平城京

問15 聖武天皇が国分寺とともに、日本各地の女性のために建立させた寺院を何という？

1. 国分寺 2. 元興寺 3. 大安寺 4. 国分尼寺

問16 戸籍に基づいて人々に口分田を与え、死後には国に返させるという奈良時代の土地制度を何という？

1. 三世一身法 2. 公地公民制 3. 墾田永年私財法 4. 班田収授法

答え合わせ・解説

問1	答え 4 遣唐使	遣唐使は、7世紀から9世紀にかけて、日本が唐へ派遣した公式の使節団です。留学生や学問僧らが同行し、唐の政治制度、仏教、建築、美術、音楽など、多岐にわたる先進的な知識を日本に持ち帰りました。これらは当時の日本社会を急速に発展させる原動力となりました。
問2	答え 3 天平文化	天平文化は、聖武天皇を中心とする貴族や仏教が主導した文化です。唐の影響だけでなく、シルクロードを通じて伝わった西アジアの文化の影響も強く見られ、国際的で豪華な特徴を持っています。代表例として、東大寺の大仏建立や、正倉院に保管されている宝物などがあります。
問3	答え 1 東国	当時の東国は馬の飼育や弓の技術に長けた者が多く、軍事的な実力が高く評価されていました。しかし、九州の防衛任務は3年という長期に及ぶ厳しいもので、遠く離れた地への赴任は農民たちに大きな負担を強いました。家族と別れ、命の保証もない任務に向かう彼らの苦悩は深く、多くの切ない歌が詠まれました。
問4	答え 1 風土記	風土記には、その土地の名前の由来、特産物、地形、古い伝承などが詳しく記されています。現存するものとしては、『出雲国風土記』が非常に詳しいことで知られています。
問5	答え 4 元明天皇	第43代天皇で、710年の平城京遷都を実行しました。また、国家の歴史や伝承をまとめるために、太安万侶らに『古事記』の編纂を命じ、各地の地理や産物を記録する『風土記』の作成を命じました。国力を充実させ、安定した統治を目指した人物です。
問6	答え 4 太政官	太政官は、八省を統括し、国政の運営を担当する最高機関です。長官である太政大臣を中心に、左大臣、右大臣などが政治の実務を行いました。
問7	答え 3 律令国家	律令国家では、公地公民の原則に基づき、戸籍を作成して人々に税を課しました。中央では二官八省が行政を担い、地方では国司と郡司が行政の実務を行うシステムが構築されました。
問8	答え 2 万葉集	万葉集は、現存する日本最古の和歌集です。歌人としても有名な大伴家持が編纂に大きく貢献したとされており、奈良時代末期までに完成しました。収録されている歌は、天皇から防人、農民まで非常に幅広い階層の人々によって詠まれたものであり、当時の多様な人々の感情や生活文化が生き生きと表現されています。
問9	答え 2 令和	「令和」は、日本で初めて日本の古典（国書）から選ばれた元号です。奈良時代の歌人である大伴旅人らが、梅の花を愛でる宴で詠んだ歌の序文にある「初春の令月にして、気淑く風和らぎ」という一節から引用されました。「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められています。
問10	答え 4 聖武天皇	聖武天皇は、各地に国分寺を建て、東大寺には大仏を造立しました。彼の没後、光明皇后がその冥福を祈り、愛用していた多くの品々を東大寺に奉納したものが、現在の正倉院の宝物となっています。
問11	答え 1 平城京	710年に飛鳥から遷都された平城京は、当時の中国である唐の都・長安を模して作られました。道が碁盤の目状に整備され、天皇が住む宮殿を中心に官庁が並ぶ、本格的な計画都市でした。ここを拠点として、全国の国司を指揮し、租税を徴収する律令政治が行われました。
問12	答え 4 防人	防人は、大和朝廷が九州地方の防衛のために配置した兵士です。主に東国（現在の関東地方）の農民から徴兵され、長期間の任期で現地に派遣されました。万葉集には、故郷を離れる寂しさや任務の過酷さを歌った防人の歌が多く収められており、当時の人々の苦しい生活の様子を今に伝えています。
問13	答え 1 国司	国司は、中央政府の意向を地方へ伝え、郡司を管理することで徴税や戸籍管理を行いました。郡司の実務を監視し、定期的に中央へ報告する義務がありました。
問14	答え 2 長安	長安は、当時の中国の首都であり、碁盤の目状にきれいに区画された都市構造を持っていました。日本はこの長安の計画を参考にして、平城京を建設しました。中央に朱雀大路という広い通りを通し、東西の市（市場）を配置するなど、国家の権威を象徴する都市づくりが行われました。
問15	答え 4 国分尼寺	国分尼寺は、国分寺と同様に「鎮護国家」の願いを込めて建てられました。法華滅罪之寺とも呼ばれ、女性僧侶（尼）が修行を行い、祈りを捧げる場所でした。各地の国府の近くに建てられ、国分寺とともに仏教信仰の地域的拠点として重要な役割を果たしました。
問16	答え 4 班田収授法	班田収授法は、戸籍を作成して6歳以上のすべての人々に「口分田」と呼ばれる土地を分け与える制度です。受け取った人は、その見返りとして租・庸・調などの税を納める義務を負いました。本人が死亡したときには、その土地を国に返却する仕組みです。この土地制度により、国家による民衆の把握が徹底されました。